

団

結

Danketsu

所報タイトル「団結」は所内で掲げる

No.82

発行責任者 / 小林 政氏

発行日 / 2012年4月1日

●会計 ●相続 ●経営コンサルティング

小林合同会計

所長税理士 小林 政氏
 税理士 山野基尚 税理士 須賀保雄

〒332-0032 埼玉県川口市中青木1丁目1番25号
 TEL(048)253-5668 FAX(048)253-7602
<http://www.e-cg.co.jp>

平成24年度 入所式



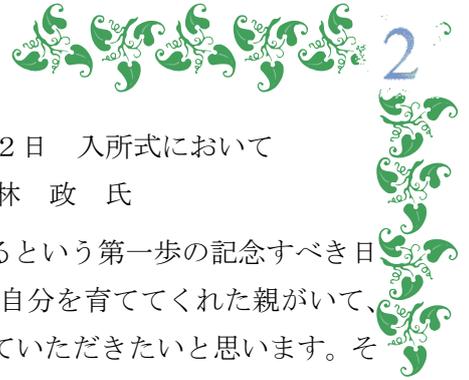
4月2日(月)に平成24年度入所式が当事務所4F会議室にて行われました。今年入所したのは、大槻達郎、杉田佑介、古賀哲也の男性3名になります。

所長の訓辞、先輩達の歓迎の言葉の後、新人3名がそれぞれ抱負を述べました。



今後しばらくは先輩達の仕事の補助を行うこととなります。皆様のお目にかかることもあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。





所長訓示

平成24年4月2日 入所式において
所長 小林政氏



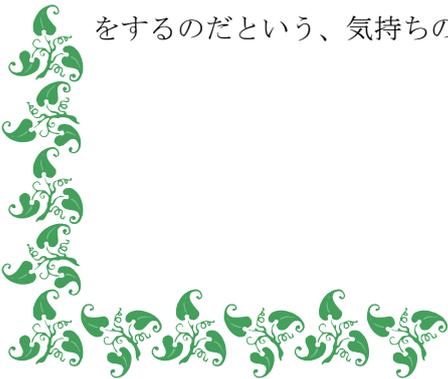
皆様、本当におめでとうございます。これから社会に出るという第一歩の記念すべき日にとって必ず感激のある日だと思います。これもやはり、自分を育ててくれた親がいて、先生がいて、友達がいて、そのような人たちに大いに感謝していただきたいと思います。それだけおめでた

今日があり、これからの日があるのです。

入所して、仕事を初めて三ヶ月、一年という月日の中には、悩むことが非常に多いと思います。先輩もその道を通ってきていると思いますが、悩んだときに、どのように気持ちを修正していくか、ということが重要ではないかと思えます。この心配、悩みというものは自分が仕事をやっていて色々出てくるものであると思えます。「大変だ」と悩んだだけで、物事が解決するわけではありません。悩んだことに対して、一旦素直に受け入れ、肯定的に物事を考え、現状を把握し、一旦どっぴりと漬かってみる。そういうことが重要だろうと私は感じております。

人間というのは自分の弱さ、失敗を隠そうとします。しかし、新人の強みは失敗するのが当たり前、失敗したならばそれを相談し、先輩に指導して貰えること、何でも質問できるということです。皆さんの一番の弱みを強みに転じる為にはどうしたらいいか。自分の弱みを晒し出し、それを皆に補ってもらえるような人間関係を創っていく。そういうことも、すごく重要な事ではないのかなと私は思っています。

事務所として頑張りたいことは、「気配り、目配り、思いやり」の3つを上げています。今年は特に“気付き”について頑張りたいと思います。人の話を聞いたり、物を見たり、色々な形で体験したその中で気付いた事を応用し、即行動を起こせるかが重要な事です。この行動を日々行っていれば、年々年月日がかさむ度に自分も大きくなっていくのだと思います。色々な人との出会い、人との会話、テレビを見たり本を読んだりなど、情報をいかに取り入れて自分の物にするかという事を実行して頂く。そのためには、朝の大切さと言うものを感じて欲しいと思っております。朝、目が覚めたら直ぐに起き、今日仕事をするのだという、気持ちの切り替えのできる人間になって欲しいと思います。



白井 茂 及び 筒井香織 退職について

3月30日（金）をもちまして白井 茂 と筒井香織が退職いたしました。

二人とも前太田会計事務所から勤めており、白井は32年間、筒井は14年間でした。長い間、本当にお疲れ様でした。



新入所員御挨拶



大槻達郎

はじめまして、4月に入所致しました大槻達郎と申します。

趣味は色々ありますが、野球、フットサル、スノーボードなど体を動かすものが大好きです。フットサルは友人とチームを作り定期的に試合をし、大会にも参加することがあります。今後は、まだやったことの無いものにもチャレンジしていきたいと考えております。

私は色々な方々と接するのが好きで、また、その方々のお話から新しい知識が得られることに喜びを感じます。このような性格から、それぞれの専門性を持った方々と多く接する機会があり、企業の維持・発展のお役に立つことが出来る会計事務所で働きたいと思い入所致しました。

新人である私の取り柄は明るく元気なところぐらいですが、一日でも早く一人前と呼ばれ皆様方のお役に立てるように、どんなに小さな仕事でも120%の力で一つ一つ確実にこなし、また、知識の習得にも励んで参りますので宜しくお願い致します。

杉田佑介

はじめまして。4月より小林合同会計事務所に入所することになりました、杉田佑介と申します。生まれてから22年間、桶川市に住んでおります。

大学時代は、会計ファイナンス学科に所属し主に簿記や会計学について学んできました。この知識を生かして仕事をしたいと考え小林合同会計事務所を就職先として志望しました。

大学時代に清掃のアルバイトをしており、小林合同会計事務所のお掃除にも何度かお伺いしたことがあり、立派な事務所だと常々思っていました。そして、4月からこの事務所の一員になることができ大変嬉しく思います。

大学を卒業したばかりの若造で、知識だけでなく人間としてもまだまだ未熟者ではありますが、若さを生かして様々なことに挑戦し、成長していきたいと思っております。そして、1日も早く皆様から小林合同会計事務所の一員であると認められるよう頑張りたいと思っております。

古賀哲也

この度、小林合同会計事務所に入所いたしました、古賀哲也と申します。入所式を終え、晴れ晴れとした心境です。

この春大学を卒業し、社会人としての第一歩を踏み出しましたが、まだまだ浮ついており、この業界の右も左もわからない状態です。まずは諸先輩の教えを受けながら目の前の仕事をしっかりとこなし、社会人として地に根を張って自立することが当面の目標です。

これからの一日一日を、所内外を問わずコミュニケーションを大切にしながら過ごし、ゆくゆくはプロフェッショナルな人材として、より広い視野をもって、お客様やその他諸々の関係者様、また地域に貢献できるよう精進してまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

～いつも自分のそばに書き記し、時には戒めとし、
時に励みにしている言葉は何でしょう？～

春山和彦

【できる 大丈夫 OK ドンマイ】

恩師から教えていただいた言葉で、否定的な考え方をせずに、肯定的に物事に取り組むという意味があります。

私自信、休みの日に小中学生にソフトテニスを指導している際、選手がプレーに自信がもてなかったり、気持ちが減入っているとき、前向きな気持ちになれるよう使っています。

萩島邦彦

【凧が一番高く上がるのは、
風に向かっていて時である。
風に流されている時ではない。】

これは、元イギリス首相のウィンストン・チャーチルの言葉です。逆境、ピンチこそ、その人にとって最大のチャンスであることを意味します。

中途半端な状態より、最悪と思えるくらいの方が、発想の転換はしやすいと考えます。逆境だからこそ見えてくるチャンスを見逃さないようにしたいと思っています。

田口英雄

【泰然自若】

人生においてトラブルはつきものです。そんな時いかにあわてず騒がずどっしりと構えて対処できるかどうか大切なのだと思います。

この『泰然自若』は落ち着き払って物事に動じない様子を指していますが、この域まで達している方はそうそういないと思います。私もこの域までとは言いませんが、せめて動揺がすぐ顔に出ないように成りたいと思っています。

今月も、6名の座右の銘を紹介します。

竹川侑里

【かけた情けは水に流し、受けた恩は石に刻め】
関わる人々に対して“慣れ”を通り越して時に、失礼な対応になってしまわない様にこの言葉を思い返します。自らが人の為にしたことには見返りを求めず、人から受けた恩は「返したら終わり…」ではなく、関わっている以上いつもその恩を忘れずに感謝の心で接する事が出来る人でありたいと思っています。

また、石に刻むばかりでなく、自らが人の為に行動する時間も増えれば良いと思います。

村中友理

【負けても終わりではない。やめたら終わりだ】
諦めない限り終わりではないのです。終わりになるのは、人が決めるのではないのです。自分自身です。自分が諦めたら終わりなのです。

第37代アメリカ大統領リチャード・ニクソンが何度落選してもあきらめず挑戦し続けて1968年の大統領選で当選した時の言葉だそうです。私もこの人のように、どんな事でも何度失敗してもできるまであきらめないで続けていきたいと思っています。

深井香那

【行雲流水】

「空行く雲や流れる水のように物事に執着せず自然の成り行きに任せて行動する例え」という意味なのですが、私は独自の解釈をしています。雲も水も流れに抗うことはなど無いけれど、雲は日々形を変え、水も形を留めたりはしない。その事から「流れる時間に逆らうことなく、それに対応する為に己の形を変えて行く」と・・・。

この様に、どんなことにも柔軟に対応できる人間になれば、と日々思っております。

